

一宮町長  
馬淵 昌也

わたくしの家では、昨年の秋から猫を2匹飼っています。白黒のぶち猫で、雄の兄弟です。ペットを飼うのは久しぶりですが、色々と発見したことがあって、なかなか面白いです。

まず、この2匹は同腹で、ほぼ同時に生まれたわけですが、性質が随分違っているのに驚かされます。Aと名付けられた方は、慎重で思慮深いのに対し、Mと名付けられた方はいたずらっことで、茶目っ気旺盛です。やはり性格は先天的に決まる部分が多いのかな、と彼らを見るたび感じます。

この2匹は完全に屋内で飼っていますが、飼ってから、家の中の虫がいなくなっただけにも驚いています。何か虫が出現すると、ハチでもハエでもクモでも、見つけ次第的確にとらえます。ハチなどの毒のあるものは、何度もたたき落として、元気をそいでからつかまえます。おかげでわたくしの家には

クモが多かったのですが、あまり見なくなりました。

また、なんといっても、家族の身心の健康に資するところが大きいと思っています。猫は見た目が可愛いので、おもわず可愛がりたくなってしまいました。そしてこちらが可愛がると向こうも大変喜びます。可愛がり甲斐があるわけです。わたくしは、このときこちらが感じる嬉しい感覚は、恐らく身の免疫力を上げる力を持っているのではないかと思えます。わたくしはこれを「可愛がり健康法」と呼んでいます。

そもそも猫は、アフリカのリビアの地方の野生動物だったそうです。犬も同様ですが、人間とは全く違う種類の動物なのに、人間を頼りにし、人間に可愛がってもらうことを望むようになったというのは、なんとも不思議です。